

成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより 53 号
R1. 6. 21

中体連総体を振り返るソフトテニス 試し撮り



写真は亜紀先生提供です。

2年 M・O さん
今回の中体連を通して、今までを振り返ると、個人ペアの決勝戦で負けたしまった一番の原因は、メンタル面の弱さだと思えます。メンタル面を強くするためには、日頃の練習態度や行動を誠実に、自分に自信を持てるよう、自分を信じて、自分自身が思っています。それを現実にするために、部活動での声出しや機敏な行動はもちろん、日々の挨拶や授業態度を良くして、しっかりとできるようにすることです。中体連では、たくさんの方に応援してもらいました。県大会では、それに答えられるようにしたいです。

3年 S・I さん
私達、女子ソフトテニス部は団体戦で3ペアが出ました。団体戦は大意味中さんに負けてしまい、良い結果を残すことができませんでしたが、個人戦ではMさんと組んで、決勝戦まで進むことができました。N中さんとの決勝戦で私は、ボレーやサーブが全く決まりませんでした。しかし、Mさんがサーブを取ってくれて、ファイナルまでもちこたえました。結果として7体5で負けてしまい、2位で悔しかったです。県大会で優勝をめざすためには、朝練、後練で頑張り、九州大会まで行けるよう臨みたいです。



虹の架け橋



みんなですつくる
明日の運動会

2年生の運動会学年演技は、虹の架け橋です。今年から新しい種目として採用されました。全員で馬跳びのような体勢で橋を作り、身軽な代表者が上を渡っていきます。次々と橋を作っていくと渡れないので、チームワークと団結力とスピードが必要です。学級対抗で、渡る早さを競い合いますので、いかに早く効率的によく、渡りやすい橋がとれるか、が見所です。落ちないよう両方の人で支えながらスピードも調整します。多目的教室での練習では、どの学級も早い虹の架け橋でした。

